

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成24年05月07日

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）			⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
23年度実績			名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
<ul style="list-style-type: none"> <li>副安全運転管理者の変更手続きを行った。</li> <li>異動者分の関係書類（運転経歴証明書（自動車安全運転センター）・住民票）を添付し、変更届を栃木県公安委員会へ提出した。</li> <li>安全運転管理及び副安全運転管理者が法定講習会を受講した。</li> <li>負担金34,000円を栃木県安全運転管理者協議会に支払った。</li> <li>職員への交通事故違反防止については、交通安全研修会の開催の他、隨時指導した。</li> </ul>			ア 安全運転管理者、副安全運転管理者を変更した人数	人	3	2	3	3	1
24年度計画			イ 法定講習会への参加者数	人	5	6	6	6	6
23年度と同じ			ウ 交通安全研修会参加者職員数	人	73	59	59	57	60
			エ						
			オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等			⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
本庁内公用車、本庁内職員、安全運転管理者、副安全運転管理者			名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
			ア 本庁内公用車の保有台数	台	84	103	110	110	112
			イ 本庁内職員数	人	299	376	374	367	368
			ウ 安全運転管理者・副安全運転管理者の数	人	5	6	6	6	6
			エ						
			オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）			⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
公用車等の安全な運転を励行し、交通事故・違反の縮減を図る。			名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
			ア 公用車や交通事故及び交通違反を起こさなかった割合	台	80	99	104	104	111
			イ 安全に運転された公用車の割合	%	95.2	96.1	94.5	94.5	99.1
			ウ						
			エ						
			オ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）			⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
職員の交通安全に結び付け、組織・人材の強化につなげる。			名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
			ア 交通安全に努めた職員の割合	%	95.3	93.9	92.8	95.1	96.0
			イ						
			ウ						
			エ						
			オ						
(2) 総事業費の推移			単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	59	59	63	62	0		
事業費計(A)			千円	59	59	63	62	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0		
	延べ業務時間	時間	5	5	5	5	0		
	人件費計(B)	千円	21	20	21	21	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	80	79	84	83	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか。			昭和53年に安全運転管理者制度が創設されたため。						
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？									
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？									

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 法に基づき、事業者として義務付けられており、職員への安全運転管理を行うものである。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市が事業者であるため、市が行わなければならない事務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 安全運転管理者等を適切に選任し、職員に対し、交通事故・交通違反の撲滅のための指導を行っており、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 職員が交通安全、交通違反をしないことの徹底を図っているが、さらに交通安全の重要性の意識の徹底を図る必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 法に基づき設置している。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 安全運転管理者等の選任及び講習会受講に必要な経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 安全運転管理者等の選任に必要な人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 行政内部の事務のため、受益者負担はない。

## 3. 改革・改善方向の部

### (1) 改革の方向性（改革案・実行計画）

廃止  見直し（：目的妥当性 ：有効性 ：効率性 ：公平性）  統合  継続  
交通事故・交通違反がなくなるよう、成果を向上させなければならない。

### (2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？

職員が安全運転に努め、交通事故・交通違反を起こさないよう、さらに交通安全の重要性の意識徹底を図る必要がある。

### (3) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

### (2) 2次評価者としての評価結果

①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

### (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止  休止  目的絞込み  目的拡充  
 事業統廃合  事業のやり方改善  
 予算削減  予算増大  
 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

### (4) その他2次評価会議で指摘された事項 交通安全に対する意識の徹底を図る必要がある。

### (5) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		